

# プラセンタの特徴

プラセンタには胎児が成長するために必要な栄養素がたくさん含まれています。そのプラセンタに含まれる栄養素として、たんぱく質・脂質・糖質をはじめ、ミネラル・ビタミン・核酸などを成分としています。

また、最近TVやインターネットでも多く知られているプラセンタは、アミノ酸、活性ペプチド、ムコ多糖体、酸素などの栄養素が含まれており、細胞の呼吸を活発にして新陳代謝を高め、美容面・医療面から見ても様々な効果や効能が期待されています。

その成分は人間の胎盤から人工的に抽出されたものを、培養して生成しています。元々は、肝硬変や肝炎の治療のために、研究開発が進められてきたという歴史を持っています。日本においても、1974年に当時の厚生省から、医薬品として正式に許可を受けています。

プラセンタ注射は、近年では肝臓に病気の治療薬としてではなく、美容やアンチエイジングの為に使用されるケースが増えてきております。

## (様々な効能・薬理作用として)

プラセンタの最大の特徴として「自然治癒力」の増大があり、体の不調を慢性化させない自然薬として注目を集めています。

また、肝炎と更年期障害に対する保険適用が厚生労働省から許可されている副作用の少ない医薬品です。薬理作用として、自律神経調整作用・基礎代謝向上作用・抗疲労作用・抗アレルギー作用・血行促進作用など、様々確認されてきています。

ご希望の方は、矢ヶ崎院長の診療日に受診してください(月・水・金)